

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山、阿部
 直通：092-643-3597
 内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第46週（令和5年11月13日～令和5年11月19日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第46週は、県内1例目となるエムポックス（旧名称：サル痘）の報告がありました。エムポックスは、エムポックスウイルスによる感染症で、6～13日（最大5～21日）の潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹等の症状が0～5日続き、発熱1～3日後に発疹が出現します。多くの場合、発症から2～4週間症状が持続した後自然に回復しますが、稀に重症化することがあります。エムポックスは、感染した人や動物の皮膚の病変・体液、血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面して長時間の飛まつにさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染します。感染が疑われる症状がある場合は、かかりつけ医など医療機関を受診してください。
- 福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihef.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	15	592	233	12,372
腸管出血性大腸菌感染症	7	201	52	3,405
エムポックス	1	1	4	213
デング熱	3	12	6	144
レジオネラ症	1	78	40	1,989
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	101	32	1,793
梅毒	16	829	201	12,965
百日咳	1	20	22	854

■ 定点把握疾患報告数

■ : 警報レベル

■ : 注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	257	1.30	0.90	9,941	2.01
インフルエンザ（注意報レベル）	5,457	27.56	1.47	85,766	17.35
RSウイルス感染症	2	0.02	0.33	205	0.07
咽頭結膜熱（警報レベル）	789	6.58	0.89	10,173	3.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	688	5.73	1.12	10,523	3.34
感染性胃腸炎	905	7.54	1.14	11,671	3.71
水痘	24	0.20	0.62	427	0.14
手足口病	93	0.78	0.79	2,301	0.73
伝染性紅斑	0	0.00	0.00	32	0.01
突発性発しん	44	0.37	1.63	762	0.24
ヘルパンギーナ	10	0.08	0.63	377	0.12
流行性耳下腺炎	4	0.03	0.57	139	0.04
急性出血性結膜炎	2	0.08	-	5	0.01
流行性角結膜炎	33	1.27	1.27	644	0.92
細菌性髄膜炎	1	0.07	-	9	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	10	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	34	0.07
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	1	0.00

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。